

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

<■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
1	初動支援 水仙の会	老人福祉施設への慰問事業 豊中市内の老人福祉施設を会員の内10名程度で訪問し、日本舞踊、手品、ハーモニカ演奏、フラダンスなどで慰問して、施設の皆さんを元気付けています。私達の来訪を心待ちしてくれる人達に応えるべく努力を重ねています。	交付	176,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、日本舞踊等の技能を持つ会員が老人福祉施設を慰問することで、施設に入居する高齢者の生きがいとなる有意義な事業であると評価しています。また、前回の交付時に比べ、施設に費用負担を求めると積極的に財源の確保にも取り組まれており、自立に向けて着実に活動を展開されていることがうかがえます。 これまでも長年にわたり継続して取り組んでこられた活動であること、会員数を着実に増やしておられることから、実現可能性については高く評価しています。その一方で、慰問先が特定の施設に偏るなど、活動がやや硬直的になっている印象を受けます。今後、活動の幅をさらに広げていくためにも、まずは積極的に慰問先の施設を増やすための方策を検討してください。また、これまで慰問に訪れている施設も含め、改めて慰問を受け入れる施設側の声をしっかりと汲み取り、変わりゆく相手のニーズに合った活動を展開してください。また、貴活動を広く広報することで、さらなる賛同者や協力者を増やすことも重要です。これからは継続的に事業が実施できるよう、より安定した財源確保の方法を検討してください。 貴団体の取り組みが多く施設から認められ、今後さらに広がっていくことを期待しています。	初動:H28
2	初動支援 NPO法人障がい者・高齢者市民後見STEP	障がい者の成年後見制度啓発プロジェクト 豊中の障がい者や高齢者及びその親族に、成年後見制度の仕組みや費用・事例・留意点をわかりやすく解説した独自冊子を改訂し配布すると共に、施設等での出張セミナーや研修講座及び休日相談窓口を開設します。	交付	380,400	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、今後ますます社会的課題となることが予測される障害者の成年後見制度について、より親しみやすい冊子を発行することで人々への周知や啓発を行うといった、大変有意義な事業であると考えます。既に発行済みの冊子に実例を追記するなど、具体的な事業内容については実現可能性が高いと判断しました。 ただ、冊子の発行だけでは貴団体の目的を達成できるとは言えません。事業の実施にあたっては、冊子の改訂のみならず、新たな冊子がそれを必要とする対象者(その必要性に気づいていない対象者を含め)に広く行き渡るよう、配布先や活用方法を十分に検討してください。成年後見制度は、名称こそ一般に認知されてきていますが、内容への関心は限定的であり、実感を伴って理解されているとは言えない状況にあると考えています。貴団体の啓発プロジェクトがより効果的なものになるよう、当事者のニーズを十分に理解・把握したうえで、セミナーの周知・開催を実施してください。貴団体の活動によって、多くの人々の将来への不安が払拭されることにつながることを期待しています。	
3	初動支援 特定非営利活動法人空き家サポートセンター	空き家セミナーと各種相談会による空き家問題等の啓発活動等 豊中市内に存在する沢山の空き家は百害あって一利もありません。空き家が引き起こす様々な問題を解決するための空き家セミナー、各種相談会、市民の空き家に関する意識調査や空き家の利活用を推進します。	交付	171,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、近年全国的に、そして豊中でも社会問題として顕在化している空き家対策について、セミナーや相談会の開催を通じて住民の意識啓発から解決を図ろうとする、非常に公益性の高い事業であると考えています。また、貴団体は事業実施に必要な専門的な知識を持つ会員によって構成されていることから、実現可能性が高いと判断しました。 ただその一方で、貴団体の会員には行政書士や建築会社の経営に携わる人など、貴団体の活動に対して利害関係が発生することが否定できない関係者が含まれていることが懸念されます。今回の決定は貴団体の事業の公益性や地域貢献性を高く評価したものです。事業の実施にあたっては、貴団体の関係者の利益につながるのでは、といった疑念を抱かれないよう特に留意してください。例えば、空き家問題について興味・関心の低い市民のための意識啓発活動や、地域住民に資する場の創出を目的とした空き家の利活用事業など、本助成金の趣旨と合致する公益性の高い取り組みについても、関係者の利益誘導につながらないよう事業を展開してください。 また、貴団体は既に市の関係部局とさまざまな事業を連携・実施されていますが、それらの事業と本事業との明確な住み分けを行ってください。豊中市独自の課題を十分に把握・分析したうえで、有効な解決策を提案・実行して下さることを期待しています。	
4	初動支援 健プロ体操	リハビリ専門職による通いの場『健プロ体操』～健康を自身で管理できるプロになるための体操～ リハビリ専門職が教える介護予防・健康増進を目的とした体操です。運動に不安をお持ちの方も安心して安全に行えます。運動の基本を身に付けて、10年後も元気で活動的な生活が送れるよう一緒に目指しましょう！	交付	293,926	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、超高齢社会を背景とした健康の維持や社会保障費関連経費の増大が社会課題となっている現在、高齢者など運動に不安を抱える人々が体を動かすことを通じて自らの体と向き合い、自分に最適な運動を見つけてもらおうという、非常に意義のある取り組みです。医療と介護の狭間で取り残されていた人々を支援するという試みは、先駆性も高く、また専門的なスキルを持った会員によって実施されることから、実現可能性も高いと判断しました。 なお、貴事業の名称である「健プロ体操」という言葉は、一般の方々にとっては少し敷居の高さを感じるかもしれません。事業実施にあたっては、よりニーズの高い人々に参加してもらえよう、また「自分に合った体の動かし方を知る」という貴事業の趣旨を参加者に十分理解してもらえよう工夫してください。 また、多くの専門家が関わる取り組みだからこそ、事業成果を分析し、その手法が適切かどうかの検証を行うべきであると考えています。検証結果を精査しながら次の展開へとつなげていただくことを期待しています。 今後、持続可能な自立した団体として活動していくためには、自主財源の安定的な確保を進めていくことも必要です。参加費の徴収だけでなく、寄付金の獲得等にも積極的に取り組んでください。そのうえで、行政が実施する同様の取組みや市の医療・福祉部門との連携についても検討を進めていただきたいと思います。 今後、貴団体の活動が広がりを見せ、多くの高齢者が健康に暮らす地域づくりが実現できることを期待しています。	
5	初動支援 視覚障害者の単独白杖歩行外出を応援する会	点字ブロックのルート情報テキストデータベース整備事業 視覚障害者が自由に安全に単独白杖歩行外出できるように、点字ブロックルートの情報を調査収集し、テキスト化した上で、データベースとしてインターネット上に公開する。	交付	143,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、視覚障害者が単独で白杖歩行外出をするために必要なテキストデータベースを構築し、視覚障害者の社会参加を促進することを目的に行われており、公益性の高い事業であると評価しています。また、ルート調査にあたっては多くのボランティアメンバーを巻き込むなど確固とした実施体制を構築しており、実現可能性も高いと判断しました。 この一方で、取組みに携わるボランティアメンバーの不足が課題として挙げられます。ルート調査については高校生等の協力が得られているとのことでしたが、ルート情報のテキスト化の作業についても積極的に協力者の確保に努めてください。貴団体でのボランティア活動を通じて、視覚障害者が抱える課題を知るきっかけにもなるという点でも、市民活動情報サロン等を活用し、豊中市内の高校にも積極的に働きかけていただきたいと思います。 公開プレゼンテーションでは、完成したテキストデータベースが現在、どれほど活用されているのかといった具体的なお話は聞けませんが、これからも必要としている人たちにしっかりと届き、利用していただけるよう、周知に努めてください。また、利用者からの意見をアプリやテキストデータに反映させることも重要です。適宜利用者の意見を把握し、不具合等の改善・更新を行うための体制をしっかりと構築することで、より利用者にとって優しいデータベースとなると考えます。貴事業は継続性を担保することが必要不可欠です。市の関係部局との協働も見据え、着実に事業を遂行されることを期待しています。	初動:H29

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

＜■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円＞

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
6	初動支援	上を向いて歌おう会♪	不交付	230,000	100,000	-	貴団体の申込事業は、自宅に引きこもりがちな高齢者を外の世界にいざない、歌を通じての居場所づくりを目的としておられます。歌詞を投影することで、文字どおり「上を向いて歌う」こと、それと同時に、その歌の生まれた時代背景や作曲家・作詞家の生い立ち等も伝えるといった手法は、他の歌声サロンに比べても独自性の高いものであり、生涯学習の観点からも有意義な活動であると感じました。ただその一方で、現在、貴団体が主な活動場所とされている公民館では、会員以外の参加者を広く募り、その参加者から費用を徴収して実施する活動は制限されています。もし会員へのサービス提供に限定した場合は、公民館の利用は可能ですが、残念ながら公益性が低いと判断せざるを得ません。このため、貴団体の活動については、実現可能性、地域貢献性が低いと判断せざるを得ませんでした。貴団体の事業目的やその実施方法は、多くの人々から賛同が得られるたいへん有意義なものであると考えています。今後は、貴団体の活動がさらに開かれた取り組みになるよう、活動場所を再検討していただくとともに、シニアに限らずさまざまな世代の方を広く巻き込むこと、他の地域団体とのコラボレーションを検討することなどによって活動の幅を広げていただき、貴団体が再度本助成金にチャレンジしていただけることを期待しています。	
7	初動支援	さわる絵本 草	交付	149,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、視覚障害や知的障害のある子どもたちがさわって感じることでできる絵本を制作し提供するという、公益性の高い非常に意義のある取り組みです。また、このような絵本のニーズは高いにもかかわらず、貴団体と同様の取り組みを行う団体は全国でも少ないという点、また制作に必要なノウハウやスキルを十分にお持ちであるという点で、先駆性、実現可能性が高いと判断しました。絵本の品質を一定確保するためには、講習を受講し、スキルを習得した会員など限られたメンバーが制作する必要があると推測します。ただ、このさわる絵本の必要性を広く周知し、より多くの賛同者、理解者を得るためには、当事者ではない方々も含め、制作の過程から広く参加者を募ることが効果的であると考えます。ぜひみなで一つのことを創り上げていくという「プロセス」を重視し、さまざまな方々を積極的に巻き込むような工夫を検討してください。さわる絵本が市内の各図書館や学校に広く認知され、普及することで、子どもたちの読書環境がさらによりよいものになることを期待しています。	
8	初動支援	デフスポフェスティバル実行委員会	交付	325,800	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、聴覚障害の子どもたちを対象としたスポーツイベントを実施することで、なかなかチームスポーツの機会に恵まれない子どもたちにその機会を提供することで将来に対する夢や希望をもつきっかけを作るという点で意義のある取り組みであると評価しています。また、2019年には豊中市内での実施も検討されており、多くの市民を巻き込んだイベントを実施されるという点で今後の広がりが期待されます。ただ、貴事業は、非常に大規模なイベントであることから必然的に豊中市外からの参加者が多数を占める可能性は否めません。当助成の対象は、豊中市民に資する活動であることを基本としています。貴団体は豊中市を拠点に活動をされておられますが、豊中市民を巻き込むという点では助成対象事業としては不十分であると考えています。ボランティアスタッフの枠を広げるなど、多くの豊中市民が参画できる工夫を検討してください。なお、本事業の実施にあたっては、豊中市内のスポーツ関連団体や地域団体等とのネットワークの構築も検討してください。また公開プレゼンテーションでは、スポーツの機会に恵まれない聴覚障害の子どもたちが多く存在するといったご説明をいただきました。そうであるならば、このような年1回の大きな大会ではなく、子どもたちが日常的にスポーツを楽しめる環境づくりが重要なのではないのでしょうか。ぜひ皆さまの知見やネットワークを活用し、「豊中市に住んで良かった」と子どもたちが実感できる、新たな事業展開についてもご検討いただければと思います。当事者だけでなく、当事者の家族や障害のない人たちを積極的に巻き込むことが、貴団体の活動に対する多くの賛同者、支援者の増加につながると思います。これからはますます皆さまの活動の幅が広がることを期待しています。	
9	初動支援	任意団体 学習支援「未来SS塾」	交付	589,000	100,000	100,000	貴団体の申込事業は、経済的な理由や発達障害などのある子どもたちに学習機会を提供する公益性の高い取り組みであり、既に取り組みを進めておられること、他団体とのネットワークもあることから、実現可能性について高く評価しています。なお、実施にあたっては既に受け入れている子どもたちだけではなく、地域に潜在する子どもたちを新たに見出し、子どもたちのニーズにしっかりと答えるよう心がけてください。子どもたちの置かれた状況はさまざまです。関係団体と連携を図りながら、ぜひ子どもたちの個性に応じた学習環境づくりを進めてください。また、子どもたちの支援には継続性が重要です。特に経済的な面でハンディのある子どもたちについては、継続的に通うことができるよう受講料の負担軽減も含め検討してください。その一方で、団体としては、経済的にも自立する必要があります。現在、助成金と受講料だけで全経費を賅っていますが、他の財源を確保しなければ事業の継続性が担保されません。寄付や協賛を募るほか、地域の賛同者・協力者を積極的に巻き込むような仕掛けを検討してください。今後の取り組みをさらに深めていただくため、行政や学校、そして他団体とのネットワークをさらに広げ、子どもたちのニーズを十分に把握することに留意しながら活動を進めてください。また、豊中市ではさまざまな団体が子どもたちに対する学習支援を行っています。貴団体がその中でどういった役割を担うのか、貴団体の独自性は何か、についてぜひ検討してください。貴団体の活動が子どもたちに目標や夢を与え続けることを期待しています。	
10	初動支援	NPO法人ハックジャパン	不交付	227,446	100,000	-	貴団体は、これまで子どもたちへのプログラミング教育やキャリア教育の活動を展開されており、十分な実績をお持ちです。申込事業の、プログラミング学習とキャンプをセットにした宿泊型のイベントは、斬新であり、子どもたちにさまざまな学びの機会を提供する素晴らしい事業であると評価しています。また、貴団体の構成メンバーは学生が中心であり、若い世代がさらに次の世代の子どもたちを育成する活動を積極的に展開されていることは、たいへん頼もしく思います。貴団体は、事業目的として「家庭環境による教育格差をなくす」ことを掲げておられます。もちろん、プログラミングのスキルは今後社会で必要とされる重要なスキルの一つです。ただ、ここで重要なのは、プログラミングスキルの重要性を十分に認識している家庭とそうでない家庭で二極化している現状です。それを解決しなければ、貴団体の目標を達成することができません。その点で、今回申請された事業については、上記の課題を解決するうえで不十分であると判断し、残念ながら助成金の交付には至りませんでした。また、プログラミングスキルを定着させるには、本イベント参加者に対する継続したフォローも重要であると考えます。しかしながら、そのフォローが貴団体が定期的に実施されているプログラミング教室の紹介に留まっていることは、本イベントが貴団体の広報・周知としての役割しか担っていないと判断せざるを得ませんでした。貴団体の活動目的は「優秀な人材育成」であると思いますが、もし「能力の底上げ」を目標とするのであれば、豊中でどのような地域課題が顕在化しているのか、について十分に精査する必要があります。貴団体には、高度なスキルを持ったメンバーがたくさんおられます。豊中で子どもたちが抱える課題をどのように解決していくのかについて、貴団体の高い専門性を活かし、検討してみてください。斬新で柔軟な発想を持った若い世代の今後の活動に期待しています。	

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

＜■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円＞

コース	団体名	事業名／事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
11	初動支援	千里つばめ学習会	千里つばめ学習会	交付	135,400	100,000	100,000	
			<p>本会は、経済的に厳しい家庭環境などの理由で塾に通えないが勉強したい意欲ある子どもたちに対し平等に学習できる機会を提供し、かつ、子どもたちを社会貢献できる人材に育てることを目的とする。</p>					
12	初動支援	NPO法人バリアフリーカー・コンサルタント	福祉車両の市内移動展示・相談会	不交付	62,000	46,000		
			<p>豊中市内の4箇所において、福祉車両の移動展示・相談会を催し、間近で実際の福祉車両に触れたり、乗ってみて福祉車両の便利さを体感していただきます。</p>					
13	初動支援	まんぶくほ一む実行委員会	まんぶくほ一む子どもカレー食堂	交付	214,600	100,000	100,000	
			<p>誰もが気軽に食事をとることができる居場所を提供するとともに、いろんなスキルを持ったスタッフが、地域の方から気軽に相談してもらえる場所をつくれます。</p>					
14	初動支援	ENJOY♡こどもごはん	「ENJOY♡こどもごはん」	交付	134,400	100,000	100,000	
			<p>様々な職種の有識者・保護者との食育ランチ会・施設見学会・食育勉強会を通じて「子どもが喜ぶ安く簡単なからだにいいごはん」の知恵と知識を共有し、豊中市の食育の推進と子どもたちの健康と学力の向上に貢献する。</p>					
15	初動支援	とよなかおきなわ応援団	とよなかおきなわ市民フェスタ	不交付	200,000	100,000		
			<p>音楽や芸術など身近に沖縄市の魅力に触れてもらうことによって、兄弟都市沖縄市への関心を喚起し、市民レベルでの交流促進の契機とするとともに、今後の生涯学習、生涯スポーツの新たな選択肢を提供する。</p>					

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

＜■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円＞

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
16	自主事業	団楽長屋プロジェクト 『だんらんしんぶん』の発行をはじめとする様々なイベント・講座など、総合的でより実践的な多世代交流活動を通して、当団体だけで完結しない「地域の子育て力を上げる」というテーマに取り組む。	取下げ	1,000,000	500,000	-		初動: H26,H27 自主: H28,H29
17	自主事業	あしたの暮らしとよなか 社会課題をテーマにしたドキュメンタリー映像の上映会を、市内数箇所で開催する年間企画です。メインは上映会後の交流会。多様な思いや考えを共有することで、新しく「人のつながり」が生まれています。	交付	350,000	175,000	175,000	貴団体の申込事業は、社会課題をテーマとしたドキュメンタリー映像の上映会だけに留まらず併せて交流会を行うという点で先駆性のある取り組みであると評価しています。これまでの活動実績や培ったネットワークを活かしながら、今後も継続的かつ安定的に実施されることが望まれます。上映後、そのテーマや内容に即したディスカッションが参加者の間で円滑かつ十分に行われるような方法を工夫し、実施されている点については、学ぶ点も多いです。ぜひ今後もそういった工夫を積極的に取り入れ、人々にとって「自分発信ができる居心地のよい場」を提供していただきたいと思っています。その一方で、1回あたりの参加者が少ない上映会もあることが課題であると考えています。これまでも他団体等との連携を積極的に進めておられますが、より多くの方々が関心を持ち、参加してもらえよう、周知方法の工夫とともに、地縁団体等とのネットワークの構築についても検討していただきたいと思っています。「だっこシアター」の開催など、参加者の意見が貴団体の事業に反映され実現されていることは、理想の形です。本事業をきっかけに、人々が様々な社会課題に関心を持ち、さらにそれがそれぞれの行動へとつながることが期待されます。貴団体が蒔いた種が大きく花開くよう、今後も人々の心を揺り動かす活動を展開してください。	初動:H29
18	自主事業	ふたごさんあつまれ 「多胎プレパパママ教室(ふたごちゃんとのはじめの一歩)」 多胎妊娠・出産・育児について正しい知識と見通しを得、先輩パパママ同士の繋がりを構築するために、多胎妊婦とその家族を対象として「多胎プレパパママ教室」を開催します。	交付	86,000	43,000	43,000	貴団体は、多胎妊娠をされた方々の悩みを当事者の視点から把握・理解したうえで、出産や育児について正しい知識や見通しを得るための活動を積極的に行っておられます。申込事業は、多胎妊娠をされた方々を対象とした多胎プレパパママ教室の開催であり、これまで必要な支援を受けられなかった人々の不安を解消するという点で公益性の高いものであると評価しています。貴団体は、多胎児とその親が交流する事業に関して実績を重ね、これまで多くの方々が抱える不安感、負担感を解消することに寄与されてきたと思います。当事者同士が互いの情報交換・共有を行える場の提供は、転勤に伴う転入者が多く、家族が孤立しがちな豊中市において重要な事業の一つであると考えています。公開プレゼンテーションでお話されていたように、多胎出産は、出産時だけではなく妊娠直後から追加的なケアが必要になります。その点で、医療機関や関係団体との密な連携を進め、より早い段階で貴団体の活動や有益な情報が届くよう、同じ悩みを抱える人々を「つなぐ」工夫していただきたいと思っています。また、自助グループとしての色が濃くなると、公益性や地域貢献性が低いと判断されます。貴団体の活動を広く発信し、より多くの当事者を巻き込む仕掛けを検討するなど、豊中市に住んで良かったと思えるような地域づくりにつながるような活動を期待しています。	
19	自主事業	NPO法人日本タッチカウンセリング協会 子どもの発達凸凹への理解を深めたり、日頃の子育ての悩みを共有できる「凸凹カフェ」を開催し、保護者同士のネットワークづくりや社会資源を活用するサポートを行います。	交付	295,000	147,000	147,000	貴団体の申込事業は、発達凸凹のある子どもの育児に関する悩みなどを、保護者同士が気軽に話せる機会の提供を行う事業であり、孤立しがちな子育て中の親を支える、意義ある取り組みであると評価しています。昨年度もお伝えしましたが、本事業の実施においては、他の団体等との連携を積極的に進めることが必要不可欠です。豊中市の抱える課題、そして子どもたちや保護者が抱える不安感を十分に把握し、より効果的な取り組みを展開してください。また、子どもの発達凸凹に気づかず育児の難しさだけを感じている保護者も多く存在します。彼ら彼女らをしっかりと巻き込み、貴団体に気軽にアクセスできるような仕掛けも検討してください。豊中市では、現在様々な団体が発達障害の子どもたちへの支援を行っています。今後は、それらの団体と連携し、社会に対し発達凸凹の理解に関する情報発信を進め、より子どもたちや保護者が安心して過ごせる環境づくりの提案など、より包括的な観点から豊中市の子育て・子育て環境を検討していただくことを期待しています。なお、NPO法人本体における会計処理上、豊中市における事業にかかる収支決算もNPO法人の収支に反映させる必要があります。この点についてくれぐれも留意してください。	自主:H29
20	自主事業	NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ ONCC居場所づくりプロジェクト「ループ」おかもち子ども食堂 「おかもち子ども食堂」は、子どもに食事を提供するだけでなく、親、スタッフを含め、高齢者、地域住民の方の居場所ともなるよう進めていきます。学習支援や遊びの広場なども企画、実践していきます。	交付	432,800	215,000	215,000	貴団体の申込事業は、地域の子どもたちを対象とした子ども食堂やそれに付随して学習支援等を実施されるという、現在さまざまな団体が取り組んでいる事業の一つであり、公益性が高いと評価しています。また、貴団体が提供する講座を修了された方々の、地域貢献に対する強い熱意を十分に感じる事ができたという点では、今後の積極的かつ継続的な活動が期待されます。「地域貢献がしたい」という熱い思いは市民公益活動をする上で不可欠な要素です。しかし、その一方で、地域の抱える課題や人々のニーズは冷静に分析しなければ、事業効果は不十分なものになりかねません。まずは活動の拠点とされる地域の抱える課題を十分に把握したうえで、貴団体の持つ強みを生かした解決策を検討してください。「子ども食堂」というツールにとらわれず、ぜひ貴団体ならではの新たな解決策を検討していただきたいと思っています。また、地域団体や他の関係諸団体との連携を図ることで、貴事業のもたらす効果をより一層高めることができます。ぜひ積極的に地域のネットワークを広げ、子どもたちが気軽に訪れることのできる居場所づくりを目指してください。貴団体の熱い思いが形になり、地域課題解決の一助となることを期待しています。	自主:H27

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

＜■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円＞

コース	団体名	事業名／事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
21	自主事業 NPO法人ウィークタイ	ひきこもり等の生きづらさを抱えた当事者の自助活動展開プロジェクト —“多様”だからこそ“多様な実践”を！ ひきこもりの多くが、社会復帰後にも不安定な生活を送っています。私たちはこのような方々が安定した社会生活を送れるように、居場所づくりやプログラム等の実施を通じ、再び絶望することのない社会をつくります。	交付	784,960	392,000	392,000	貴団体は、元ひきこもりの方を対象とした緩やかな居場所づくりを目的に事業を展開されており、豊中における課題や現状についても十分に分析され、そのニーズに対応した公益性の高い活動を続けておられます。これまで開催された貴事業への参加者が途切れることなく、また多くの新しい参加者を巻き込んでいる状況は、現代社会の課題の大きさを浮き彫りにすると同時に、貴団体の活動が大きな意義を持っているという証であると考えています。この点でも、貴団体の活動の継続性を担保することは重要です。そのためには、活動を支えるメンバーを育成・確保することが必要ですが、組織を担う人材の育成は、どの団体も喫緊の課題の一つです。一人のリーダーを育てることに固執するのではなく「過度な負担を求めない担い手」を少しずつ増やすことで、貴団体自身が無理することなく緩やかに継続していくような体制づくりに努めていただきたいと思います。貴団体は、他団体との連携等、変わりゆくニーズに応じて新たな取組みにもチャレンジし続けておられます。当事者だからこそ見えてくる様々な社会課題は、私たちに気づきを与え、今後私たちが取り組むべき方策に大きな示唆を与えてくれます。誰もが「実存」を実感できる社会づくりを実現するためにも、貴団体の掲げる理想の社会をぜひ広く周知していただくことを期待しています。	初動: H28,H29
22	自主事業 子育て子育て応援！「さんえんじえる」	「子どもの安心できる居場所」の定期開催 ありのままの自分を受け入れてもらえる場があるということで、子どもの情緒を安定させて孤立することを防ぎます。また、親の気持ちに寄り添い話し相手になることで、親の孤立化も防ぎます。	不交付	147,500	73,000	-	貴団体の、子どもと親の孤立化を防ぎたいという強い思いを形にした「子どもの安心できる居場所づくり」という事業は、現在の社会が抱える大きな課題の一つであるという点からも非常に必要性、緊急性の高い活動であると評価しています。しかしながら、本事業では、その実施対象を中学校区と広範なエリアにする一方で、500枚というチラシ配布からも、非常に限定された子どもたちにターゲットを絞っているように見受けられ、計画内容と実施内容との間に乖離があるように思われました。また、この事業に対し、どのくらいの子どもの参加を見込んでいるのか、対象となる子どもたちへの効果的な周知や積極的な参加を促すしくみが明確に示されておらず、実現可能性が低いと判断せざるを得ませんでした。年3回予定されている講習会の実施についても、その具体的な対象者や規模、内容についての記載が無いため、公益性を判断することができませんでした。豊中市では、さまざまな団体が子どもたちを対象とした居場所づくりの活動を継続的に実施しています。居場所が必要な子どもたちを地域で見つけ出し、彼ら彼女らに適切かつ効果的にアプローチするには、地域の諸団体や公的専門機関との密な連携が必要不可欠です。また貴団体の活動を自立的かつ継続的に行うためにも、予算面を含め、年間の活動内容について十分にかつ慎重に計画を練っていただき、実現可能性を高めていただくことが重要です。今後、そういった点を意識しながら、地域に根ざした活動を展開いただき、より多くの市民を巻き込んだ活動につながれることを期待しています。	
23	自主事業 MOA美術館 豊中児童作品展実行委員会	MOA美術館 豊中児童作品展 豊中市内の小学生が絵画や書写を作成し、展示することで、子供の創造性を育み、「感じる心」を育て、薄化しがちな家族間コミュニケーションをとる時間を増やし、現在の子供を取り巻く社会課題の解決に繋がります。	不交付	237,004	118,000	-	貴団体は、児童作品の展示の場を通じて家族間のコミュニケーションを創造することで社会問題の解決の一助を担うべく、今回の事業を申し込まれています。これまでの実績からもこの作品展は多くの市民の賛同が得られる事業であると考えています。しかしながら、昨年度もお伝えしたように、本助成金の自主事業コースは、団体がより多くの市民の利益に繋がるような活動を継続的に展開していくことを前提に、既存の活動をさらに充実／深化させることを目的とした支援制度です。言い換えれば、貴団体の申込事業は長年にわたり実施されてきた実績をもつことから、本助成金を受けるにはこれまでの活動とは異なる新たな展開が求められます。今回提出いただいた書類には、昨年度の本委員会からの意見を受けて、サポーターズと呼ばれる、高校生や大学生のボランティアを積極的に受け入れるなどの工夫をされていることは、これまでの事業とは異なる、新たな事業の展開を意識していただいていると考えています。ただその一方で、作品募集の方法や展示等に関しては、既存の方法をそのまま踏襲したものであり、さらなる事業の展開を目指すものではないため、助成金の対象として評価することが難しいという結論に達しました。貴団体がこれまでの事業実施における成果を生かし、本助成金の対象となるような地域課題の解決に向けた新たな切り口をもった事業を展開されるには、MOA美術館の定める実施方法を前提とした中では難しいのではないかと感じています。冒頭に述べたとおり、貴団体の取組みは、家族の絆が希薄化する社会の中で非常に意義深い活動です。今後も引き続き、豊中市に住む子どもたちの創造性を育むような事業を展開されることを期待しています。	
24	自主事業 NPO法人ライフアンドガーディアンズ	後見制度を市民に分かりやすく広報するためのパンフレット作成及び配布事業 豊中市民に自らの希望にそって老後を過ごしてもらうため、後見制度等をイラストで分かりやすく説明するパンフレットを作成し、イベントでの無償配布、団体に無償提供することで、市民の関心を広く呼び起こしたい。	不交付	704,656	352,000	-	貴団体は、判断能力が十分でない方を対象とした制度である成年後見制度のより一層の活用を推進という、たいへん意義のある活動を実施されておられます。当制度への関心をさらに高めてもらうことを目的に、前年度は、落語という身近でかつ斬新な手法による周知活動を提案されたことを高く評価いたしました。しかしながら、今回の企画内容である、制度の周知のためのパンフレット作成は、残念ながら先駆性に乏しく、成年後見制度に関心をもってもらうきっかけづくりとして有効な手段であると判断するには至りませんでした。単にパンフレットを作成・配布し、セミナー等で活用するだけでは、少なからず本制度に興味を持っている人にしか情報を届けることができません。貴団体の目的は、必要にもかかわらず、その制度の存在にまったく気付かず過ごしている人々の需要を喚起することにあると考えています。その意味では、社会福祉協議会や公民館などの地域に根ざした団体により一層働きかけ、PRの場の提供を依頼する等、他の関連団体とのネットワークの構築を含めた手法の工夫が必要ではないかと思われます。貴団体の取組みは、まだ十分に浸透していない成年後見制度の理解と活用を深めるものであり、今後ますます必要とされる公益性の高い活動であると考えています。貴団体の目的の達成に向けて改めて効果的な取組方法をご検討いただき、より実効性の高い手法によって今後も活動を継続いただくよう期待しています。	自主:H29
25	自主事業 ゆいゆい会	みんなでつながる結い音楽イベント事業 音楽イベントを中心に企画し、企画の為に課程も大切に、地域のイベントで交流が出来る取り組みをする。一緒にイベントに向けて活動者を集め、より多くの人と繋がる地域活性化を目指す。	不交付	1,020,580	500,000	-	貴団体の、音楽を通じて地域コミュニティでの世代間交流を図るという本事業は、地域活性化のための有効な手段の一つであると思われます。貴団体がこれまで地域で音楽を通じた積極的な交流活動を展開されていることは、申込書類からもうかがえます。その一方で、「申込事業の実施によりめざましい社会的効果」では世代間交流や地域と関わり薄い人への参加を促すなど、本イベントによってさまざまな人を巻き込むといった記載がありましたが、残念ながらその手法が具体的に示されていなかったことで本イベントによる地域貢献性を評価することができませんでした。また年5回開催予定の「地域の音ひろば」についても、誰を対象に、どのような周知方法で人を集め、具体的に何をやるのか、など実施内容が明記されていなかったことも、事業の実現可能性が低いと判断せざるを得なかった理由の一つです。地域の抱える課題をどう捉え、それをどのように解決していくのか、またその解決に向けた取組みに対し、地域の方々はどう関心を持ってもらい参加を促すのか、などを順序立てて整理することで、貴団体の活動の更なる意義が見つかると考えています。ぜひ「地域で貢献できる強みは何か」について十分に検討を行っていただき、貴団体の持つさまざまなネットワークや知見を活かしながら、目的達成に向けさらなる創意工夫を進めていただきたいと思います。	自主:H23

市民公益活動推進助成金(平成30(2018)年度交付分)の決定内容

<■初動支援11件、決定額1,100,000円 ■自主事業5件、決定額972,000円【合計】16件、決定額2,072,000円>

コース	団体名	事業名/事業概要	決定	事業総額	申込額	決定額	市民公益活動推進委員会からの意見	交付実績
26	自主事業	特定非営利活動法人ゴールデンベル	不交付	1,820,000	500,000		<p>貴団体は、高齢者施設や障害者施設等にて、音楽を通じて入所者の方々のQOL(生活の質)の向上につながる取組みを長年継続して実施されておられます。公開プレゼンテーションにおいても、貴団体の持つ高い音楽スキルとともに、音楽の持つ力を感じることができました。今回、貴団体の担い手が世代交代をされ、今後は新体制で活動を実施するとの説明をいただきました。昨年度に比べ、事業だけではなく予算規模も大きく拡大し、新体制での活動に対するメンバーの熱い意気込みを感じた一方で、新体制での実績が無いことから、残念ながらその実現可能性を判断することができませんでした。また、規模だけではなく、新体制として「これまでの活動とは異なる新たな取組み」を期待しておりましたが、従来の活動を継続させるという内容に留まっていたことも先駆性が低いと判断した理由です。この機会に、ぜひこれまでの活動の振り返り、そこから出た課題を十分に精査し、今後の取組みに生かしていただければと思います。</p> <p>貴団体は音楽演奏などに関して非常に高いスキルをお持ちです。また、多くの団体が担い手不足という課題に直面するなかで、着実にかつ円滑に次世代へと活動をつなげることができた貴団体は他の団体の模範となると考えています。今後は、「音楽療法」の効果を十分に検証したうえで、施設等のニーズにしっかりと耳を傾けながら、高齢者や障害者のQOLを高めるような取組みを継続して実施していただくことを期待しています。</p>	